

諏訪形 史跡と文化財マップ

今から、一〇五〇年ほど前に書かれた「和名抄(わみょうしゅう)」百科辞典のようなものという書物に上田・小県地方は七つの地域(郷)に区分けられて、そのひとつに「須波郷(すなごう)」があったと書かれています。

この「須波郷」は旧上田市一円の地域で、その中心的な集落が諏訪形(すまがた)といわれています。

約五百年も経過した天文十九年(一五五〇)、武田信玄から真田幸隆に諏訪形の土地を与えるという約定の書付です。

諏訪形は作物がよく育つ土地柄の反面、千曲川という大河を擁していることから、幾多の災害にも対処を迫られており、先人達の苦勞も並大抵のものではなかっただろうと推測されます。

素晴らしい郷土「諏訪形」を残してくれた、先人達に報いるためにも明るく住みよい地域づくりをなす一層おし進めていきたいものです。

発行: 城南公民館諏訪形分館
《モデル分館事業》
平成19年11月発行





① 小菅訓導碑
昭和4年千曲川に転落した子供を救おうとし、殉職した小菅訓導の殉職記念碑。



② 水車のあった(跡)
昭和の初期まで3カ所あったうちのひとつで、主に玄米を精米にしていた。



③ 共同井戸跡
上水道が敷設されるまで飲料水として何軒かで共同で使用していた井戸の跡。(3カ所)



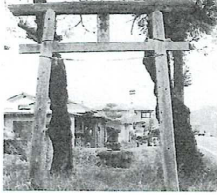
④ 郷蔵の跡
江戸時代、飢饉の際の用意として食糧を貯えておいた蔵があった場所跡。現在ある建物は関係ありません。



⑤ 荒神宮本殿と廻文碑
本殿は江戸時代末期の竹内八十吉による中国の物語を繊細な彫刻で表現しており、境内にある古式の五輪塔とともに上田市の文化財にされている。拝殿に向かって左側には前から読んでも後ろから読んでも同じ読みという珍しい和歌や俳句の石碑がある。



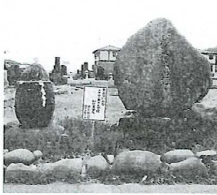
⑥ 渡し場の跡
昭和20年代まで荒神宮裏の千曲川には渡し場があり、縄文形、小牧の人達が利用していた。



⑦ 水神宮
千曲川の水管を防ぐ目的で祀られている天神様。



⑧ 道祖神
諏訪形の東西南北のはすれにあって里人を悪霊等の侵入を防ぎ、守ってくれたり道案内をする神。田中・堂村・東浦・高町・道近田の5カ所。



⑨ カンカン石(名号碑)
江戸時代、徳本というお坊さんが念仏の信仰をひろめるために建立した名号碑。(通称カンカン石)



⑩ 若宮学校跡
明治8年(1875)から同26年までの18年間、若宮学校(智仁学校)が開校していた。(写真は校舎の瓦)



⑪ 寺屋敷跡
江戸時代の中頃まで、この場所に金蔵寺があったとされた場所。



⑫ まわり場跡
昭和初期まで、葬儀はまわり場という屋外の場所で執り行われていた場所。(3カ所)



⑬ 諏訪神社本殿
諏訪形住民の産土神(うぶすながみ)。須波郷の中心地になるが故に格式が高い。なお境内には、日露戦役から第二次世界大戦まで城下地区の戦没者146柱の招魂碑がある。



⑭ 裏小路のたたすまい
大正の末期から昭和初期頃のたたすまいを感じさせる裏小路。



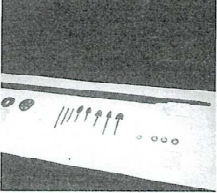
⑮ 古代遺跡発掘場所
平成18年、19年の2カ年にかけて発掘が行われ、縄文式土器や金環など出土した住居跡で約2000年から2500年前のものと推定されている。



⑯ 金蔵寺及びまわり場の信台
金蔵寺は、言い伝えでは慶長元年(1596)に武田家ゆかりの女性によってつくられたといわれている。また寺宝としてこの女性が残ったという「友(きゆう)」がある。まわり場でお椀を乗せた石の信台が本堂前に置かれている。



⑰ 森の木二号古墳
未発掘の古墳。発掘が待たれます。



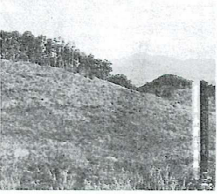
⑱ 森の木一号古墳跡の出土品
県道須川線が大正15年に拡幅されるに伴い、壊されたがこの古墳から上小地方で一番長い鉄剣が出たことで有名。



⑲ 上の平古墳
朝日ヶ丘自治会内にあるもので、1300年~1400年前のもので、この地にいた家族の墓と思われる。



⑳ たたら塚古墳
1300年~1400年前に造られたとされる古墳。被葬者は鉄製に関する人と考えられる。



㉑ 舟窪古墳群
東山国有林の一角に舟窪という場所がある。ここに五基の古墳が並んでおり、すべて1300年~1400年前のもの。



㉒ 上の山の神
東山国有林の入口にある山の神。戦前・戦中ごろまで山仕事をしる人達の守り神。



㉓ 下の山の神
悠生寮の上側にある大きな岩のそばにある山の神。



㉔ 炭坑の跡
諏訪形地籍の小牧山には、昭和17年から同26年ごろまで亜炭の採掘があった炭坑の跡。月産3000トンにも及んだという。穴の開いているのが確認できる。



㉕ 蛭影社(こかげしゃ)
年3回ないし4回掃きかたて、蛭が病気をせずに良質の繭がとれるように祈願するため、大勢の養蚕農家が毎年4月17日に参拝に訪れていた。現在は諏訪神社境内に合祀されている。

通学路危険箇所	★ 横断歩道	横断歩道を渡る児童の姿が、城下駅方向から来る車が見えず危険	★ 交差点	見通しが悪いので注意
	★ 交差点	交通量が多く、見通しが悪いので注意	★ 交差点	見通しが悪いので、「飛び出し注意」
	★ 道路	道路が急に狭くなっている。また橋脚干が弱れかかっているため注意	★ 道路	市道園(須川)方面に行く道は、見通しが悪く、人通りも少なく危険
	★ 交差点	交通量が多く、カーブで見通しの悪い交差点のため、十分に注意して横断	★ 水路	深さ、幅もあり、雨が降ると水量が多く危険